

大阪ギャラリーさんぽ ～大阪市内編～



知っているようで実はよく知らない「ギャラリー」。

作品を楽しむのはもちろん、空間の雰囲気、オーナーさんの人柄、エリアの土地柄を感じて刺激を受けることができる場所。今回ご紹介するギャラリーさんは個性的で温かいギャラリーばかり。

「ちょっと敷居が高そうで…」というあなたも足を運びたくなること間違いなし♪

Route スタッフが、オーナーさんたちにギャラリーの魅力を聞きました!!

今回さんぽしたギャラリーさん

1 軒目

「ART HOUSE」さん



2 軒目

「chef-d'oeuvre」さん



3 軒目

「乙画廊」さん



1 軒目 アートの流行と共に歩み続けるギャラリー + アーティスト雑貨屋 ART HOUSE (アートハウス)

住 所：大阪市西区北堀江 1-12-16 営業時間：11:00～19:30 (火・水定休)
最寄駅：地下鉄長堀鶴見緑地線「西大橋」、四ツ橋線「四ツ橋」、御堂筋線「心斎橋」

1階はアーティスト雑貨や絵葉書を取り扱うショップ。所狭しと並ぶアーティスト雑貨。お気に入りの1点を、つつい宝探ししたくなる楽しいお店。作家さんから本格的な技術を学べるワークショップ教室も、定期的に関講されています。

1階の壁面と2階がギャラリー。お伺いした時には猫の作品を集めた「Tiny Cats Vol.7」が開催されていました。オーナーさん、作家さん、お客さん全てが温かく、まさにアート好きが集まってくる場所。

◆オーナーの吉竹さんに聞きました！

20年ほど前、この界隈はアートで賑わっている場所でした。最初は海外アーティスト雑貨を扱っていたのですが、だんだんと国内で作家活動をする人が増えてきて、それからは国内のアーティスト雑貨を扱うギャラリー+雑貨屋、という形でお店をやっています。ギャラリー+雑貨屋という形態だから、集まる人たちの交流がより生まれやすいのかもしれませんが。ART HOUSEに関わっている作家さんたちは、個展を見に行ったり直接お会いして、顔を知っている方ばかりです。ご縁を大切に、これからも楽しいことを皆で膨らませていきたいですね。

【ART HOUSEをもっと知りたい方はコチラ→ <http://art-house.sub.jp/>】

2 軒目 文化を感じる、こだわりのギャラリーカフェ

chef-d'oeuvre (シェドゥーヴル)

住 所：大阪市西区阿波座 1-9-12 営業時間：12:00～22:00 (日祝定休)
最寄駅：地下鉄四ツ橋線「本町」

「chef-d'oeuvre」はフランス語で「傑作」という意味。

道路に面した店内に入ると、まず目に飛び込んでくるのは異国のようなおしゃれなカフェ空間。カフェスペースにも作品が飾られており、アートに囲まれながら、ゆったりとカフェやアルコールを楽しめます。

店舗奥の小さな入口をくぐるとギャラリースペース。こちらのスペースでは絵の展示だけでなく、演奏会や雑貨の展示販売をされることも。

◆オーナーの小谷さんに聞きました！

私自身ずっと美術に携わっていて、今も抽象画を描いています。アトリエが近くにあったこともあり、この場所でお店を開き、今年で13年目です。今までの活動や、このお店を通じて知り合った方たちとの関わりの中で、様々な展示をしております。ギャラリーは作品を発表する場所。美術に携わる人に限らず、たくさんの方に作品に触れてほしい。日常的にギャラリーに足を運んでほしい。カフェがきっかけでお店に入ってこられた方にもアートを楽しんでいただきたい、という思いです。

【chef-d'oeuvreをもっと知りたい方はコチラ
<https://www.facebook.com/chefdoeuvres/>】

料理もお酒も
とても美味しい♪

3 軒目 大人の遊び心を刺激される空間

乙画廊 (オトギャラリー)

住 所：大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビルヂング 101 営業時間：平日 11:00～18:00 / 土日祝 11:00～17:00
最寄駅：地下鉄御堂筋線「淀屋橋」 (日曜休業の場合あり)

大正浪漫を感じる建物「大江ビルヂング」内1階にある乙画廊。同建物内には法律事務所が並ぶ中、事務所とは違う暖色系の光を発しています。扉を開くと、一面に絵画や立体作品が並んでおり、気さくなオーナーさんと会話をすると、より深く作品を味わうことができます。

◆オーナーの渡辺さんに聞きました！

当初は創作版画のみを扱っていましたが、現在は油彩作品をはじめとし、様々な作品を展示しています。近隣は古美術街でギャラリーもたくさんあります。うちは銅版画をやっていた頃の雰囲気があり、どちらかと言えば幻想的な作品が多いかもしれません。かと言って、扱う作品に決まったコンセプトがある訳ではありません。技術面だけでなく作家さんの人柄や経験、いろんなものを踏まえて目利きをし、展示をさせていただいています。ぜひ足を運んで、作品の雰囲気を直に感じてください。

【乙画廊をもっと知りたい方はコチラ→ <http://oto-gallery.jp/>】